

## 【参考】

### ○米子市の農業の概要

#### (1) 米子市の農業の現状

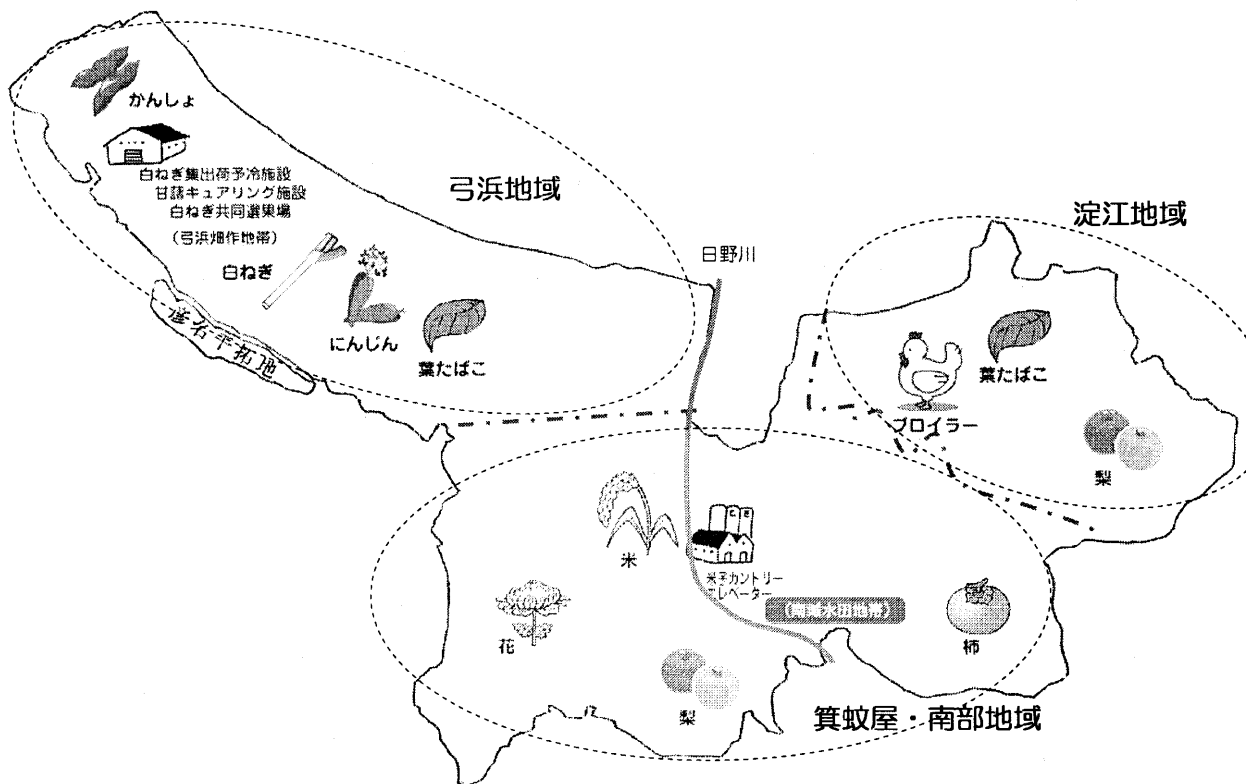
本市の農業は、土壌の分布状況から、おおまかに、弓浜半島の畑作地帯と南域及び淀江地区の稲作地帯とに分かれます。

弓浜半島の畑作地帯は蔬菜地帯として発達しており、白ねぎ、にんじん、施設園芸、葉たばこ、花卉等の生産が盛んに行われています。全体的に、圃場一区画が小さく、基盤整備が進んでいないため規模拡大が難しく、担い手不足とあいまって、耕作放棄地が増加しています。担い手の確保、耕作放棄地の解消が今後の課題と言えます。

中海干拓事業で農地造成された彦名干拓地では、平成4年から分譲が始まり、農業構造改善事業等による大型機械及び施設等の導入により、経営の近代化がなされています。

南域及び淀江地区の水田地帯では、稲作の単一経営が多く、山沿いに畑地、梨、柿、りんご等の樹園地が拓けています。水田の90%以上は基盤整備を終えています。複合経営があまり発達していないため、第2種兼業農家が多く、認定農業者を中心とした担い手への農地の集積（農作業の受委託、農地の貸し借り）が進んでいます。

#### (2) 米子市の農業地帯区分



## (3) 面積

(単位：ha)

総面積	耕地	比率	田	畑			
					普通畑	樹園地	牧草地
13,221	3,050	23.1%	2,050	1,010	931	76	—

(第55次鳥取農林水産統計年報)

## (4) 農家人口 (自給的農家を除く)

(単位：人)

総人口	農家人口	比率	総就業人口	農業就業人口	比率	基幹的農業従事者数
149,584	9,728	6.5%	73,422	3,649	5.0%	2,538

(第55次鳥取農林水産統計年報)

## (5) 農家世帯数 (自給的農家を除く)

(単位：戸)

総数								
	農家数	比率	専業農家数	比率	兼業農家数			
					第1種兼業	比率	第2種兼業	比率
52,700	2,643	5.0%	427	16.2%	298	11.3%	1,918	72.6%

(2005年農林業センサス)

## (6) 規模別農家戸数 (自給的農家を除く)

(単位：ha、戸)

規模	0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上
戸数	43	671	1,179	473	161	73	27	11	5

(2005年農林業センサス)